



東濃厚生病院

Hospital public relations magazine

VOL.99

発行者／JA岐阜厚生連 東濃厚生病院
所在地／〒509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町76番地1
TEL／0572-68-4111
FAX／0572-68-8934
URL／http://www.tohno.gfkosei.or.jp

すこやか

Content

● 医療を伝える

恐ろしい頭痛

神経内科部長 加藤 秀司

● 知って得する

えごまの栄養

～今注目されているえごまの栄養ってどんなもの?～

部署紹介／地域医療総合連携室

● ニュース&トピックス

・東濃スキルアップセミナーを開催しました

・第16回腎臓病教室が開催されました

すこやか 外来診療担当表

平成29年4月1日現在

診療科目	月	火	水	木	金	
内科	初診 第1・3・5週	柴田尚宏 (呼吸器)	宮本陽一 (消化器)	柏原輝子 (腎臓)	加藤宏雄 (循環器)	神田裕大 (消化器)
		荒田真子 (消化器)				
	第2・4週	小川貴史 (循環器)	吉田正樹 (消化器)	浅野慎介 (腎臓)	長屋寿彦 (消化器)	澤崎貴子 (腎臓)
						朱宮孝紀 (循環器)
	3診	野坂博行 (呼吸器)	安藤 操 (内分泌)		野坂博行 (呼吸器)	安藤 操 (内分泌)
	4診	柏原輝子 (腎臓)	浅野慎介 (腎臓)	澤崎貴子 (腎臓)	澤崎貴子 (腎臓)	浅野慎介 (腎臓)
	5診		柏原輝子 (1・3・5)		小川貴史 (循環器)	代務医
	6診	朱宮孝紀 (循環器)	小川貴史 (循環器)	塚本英人 (循環器)	塚本英人 (循環器)	加藤宏雄 (循環器)
	7診					
	8診	代務医	柴田尚宏 (呼吸器)		柴田尚宏 (呼吸器)	代務医
	9診	吉田正樹 (消化器)	長屋寿彦 (消化器)	吉田正樹 (消化器)	荒田真子 (消化器)	宮本陽一 (消化器)
	10診	長屋寿彦 (消化器)	宮本陽一 (2・4)	神田裕大 (消化器)	神田裕大 (1・3・5)	荒田真子 (消化器)
			山瀬裕彦(2・4午後) 代務医(午後)	第2午後 血液内科		
神経内科	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	
小児科	代務医	代務医	佐々木明 (1・3・5)	高田勲矢	佐々木明	
外科	1診	今澤正彦(1・3・5) 山村和生(2・4)	安藤修久	大谷 聡	山村和生	安藤修久
	2診	稲石貴弘	代務医	稲石貴弘	代務医	大谷 聡
整形外科	1診	代務医(手の外科) 9:30～11:30	佐藤 央	柏原 学	大間知孝顕	石塚なお子
	2診	柏原 学	大間知孝顕	大間知孝顕	佐藤 央	平石 孝
	3診	平石 孝	石塚なお子	佐藤 央	石塚なお子	柏原 学
脳神経外科			代務医			
皮膚科	1診	稲垣克彦	稲垣克彦	稲垣克彦	代務医	代務医
	2診				稲垣克彦	
泌尿器科		小出卓也	小出卓也	小出卓也	小出卓也	代務医
産婦人科		石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝
眼科	1診	代務医 9:00～16:00	代務医 9:00～13:00		金田正博 9:00～16:00	代務医 9:00～16:00
	2診				代務医 9:00～16:00	
耳鼻咽喉科	1診	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎
	2診	代務医	代務医	代務医 (第4週)	代務医	
放射線科		可児裕介	可児裕介	可児裕介	可児裕介	可児裕介
人間ドック 診察	第1・3・5	山瀬裕彦	野坂博行	山瀬裕彦	安藤 操	山瀬裕彦
	第2・4		塚本英人		吉田正樹	

専門・特殊外来

内科

血液内科外来
第2週木曜日／午後

CAPD外来
毎週月曜日／午後

フィットケア外来
第3週・第4週木曜日／
9:00～16:00(予約制)

睡眠時無呼吸外来
毎週木曜日／
13:00～15:00(予約制)

外科

ストーマ外来
第1木・第3金・第4水／
9:00～12:00(予約制)

ヘルニア外来
毎週金曜日／
8:30～11:30

肛門外来
毎週火・金／
8:30～11:30

整形外科

スポーツ外来
毎週木曜日／16:00～

脳神経外科

特殊外来
第4木曜日／
13:00～16:00(予約制・
梶田医師)

皮膚科

午後診察
毎週火曜日・木曜日／
14:30～16:30

耳鼻咽喉科

補聴器外来
毎週月・火曜日、
第2・4水曜日／
15:00～(予約制)

JA岐阜厚生連

東濃厚生病院

〒509-6101 瑞浪市土岐町76-1
TEL 0572-68-4111
FAX 0572-68-8934

受付時間 8:30～11:30
休 診 土曜・日曜・祝日
面会時間 13:00～20:00

■健康管理センター(人間ドック)
TEL:0572-68-4426 FAX:0572-68-9458
■訪問看護ステーション あゆみ
TEL:0572-68-8625 FAX:0572-68-8635

看護職員募集

当院では、看護職員を募集しています。現場から長期に離れた方でも大歓迎です。ご自身の能力を患者さんのために役立ててみませんか?お待ちしております。

資格 看護師・看護補助員

連絡先 企画総務課および看護部長室
TEL 0572-68-4111



写真提供: (農)日吉機械化営農組合



えごまの葉

葉はそのまま焼肉に巻いて食べたり、
んにく醤油に漬けてごはんや冷やっこ
などと一緒に食べても美味しくいただけ
ます。

油は加熱せずそのまま食べるのがお
すすめ。サラダやみそ汁に入れたり、脳
の活性化にはたん白質を多く含む食材
との組み合わせがよいとされるため、た
まごかけごはんにかけるのも手軽でいい
ですね。

しかし、注意しなければならない事も
あります。えごま油も他の植物油と同
様エネルギーが高いため、摂りすぎると
摂取エネルギーが多くなります。他にも
油を使う料理があることを考えると小
さじ一杯くらいを一日の目安量と考え
ましょう。また油は酸化しやすい為、冷
蔵庫での保存をおすすめします。

日々の食生活に上手く取り入れ健康
に役立てられるといいですね。



今回のテーマ

「えごまの栄養」

～今注目されているえごまの栄養ってどんなもの?～

えごまは「からだにいいー」と今注目を浴
びている食材の一つです。東濃厚生病院では
今年に入り、瑞浪市日吉町の(農)日吉機械化
営農組合が昨年からの栽培を始めたえごまの
新たな事業展開に向けた試食会、えごま油初
搾り会に参加させていただきました。

では、具体的に『えごま』のどんな成分が
「だにいい」といわれているのでしょうか？

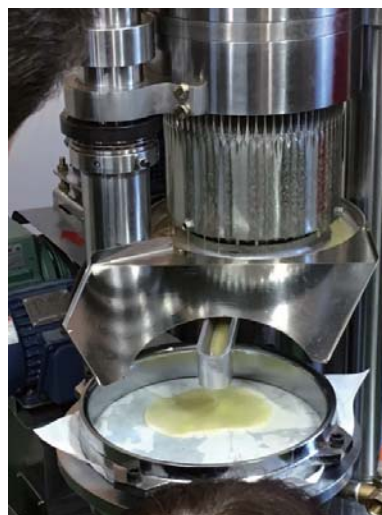
えごまはシソ科の一年草で地域によっては
『ジウネン』や『あぶらえ』とも呼ばれていま
す。油だけでなく、葉や実も食べる事ができ
ます。

主な栄養成分と期待される効果は【図1】
のとおりです。

特にえごま油のαリノレン酸は、含有量の
多いと言われるなたね油(7.3%)と比較して
も60%と非常に高く効率よく摂取できます。
実は胡麻と比較し、鉄分が1.7倍、食物繊維
が約2倍とこちらも豊富な栄養を含みます。

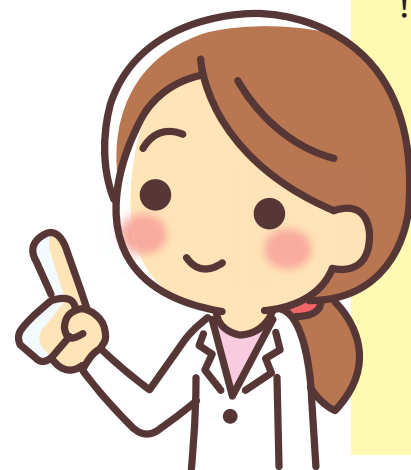
【図1】

主な栄養成分	βカロテン、ビタミンC・E、αリノレン酸 リノール酸、オレイン酸、ロズマリン酸
期待される効果	動脈硬化・脳梗塞といった成人病の予防 脳の活性化(アルツハイマー予防・記憶力向上・うつ改善) 血流改善・コレステロール低下 免疫機能の向上・アレルギー(アトピー)の抑制 老化防止・美肌・ダイエット・便秘 食後過血糖の抑制(ロズマリン酸)



写真提供: (農)日吉機械化営農組合

熱に弱い成分を含むため、強火で加熱
する料理には向きません。実は表面が硬
いため弱火で2〜3粒はじけるくらい
炒り、すりつぶして食べると栄養の吸収
もよくなります。



知
つ
て
得
す
る



みなさまに身近な健康にまつわる選りすぐりの情報をお伝えします！

東濃厚生病院の

部署紹介

「地域医療総合連携室」

当院は18診療科、病床数270床の
入院施設、二次救急病院、CT、MRI等
の高度医療機器を有し、入院治療や専
門診療を行っている病院です。このよう
な特色を生かして、地域医療総合連携
室では地域の医療機関の先生方と積極
的な連携を行っています。

患者さんを中心に考え、より良い医
療を円滑に安心して受けていただける
よう、近隣の医療機関の先生方と当院
の医師を結ぶインターフェイスとしての



役割を担っております。他医療機関で受
診をし、病状によって医療機関の先生が
当院での診療が必要と判断されましたら『紹介状』を作成していただき、当院
にご受診ください。なお、当院において
最適な治療を行った後、患者さんの病状
に応じてその後の療養を行っていただ
くために、患者さんやご家族のお話を
伺いながら、紹介元の先生、適切な医療
機関や施設等をご紹介いたします。

医療機関へのパイプ役として、皆様のお
役に立ちたいと考えております。

※『紹介状』をお持ちいただければ、選
定療養費1・080円のお支払いは
必要ありません。

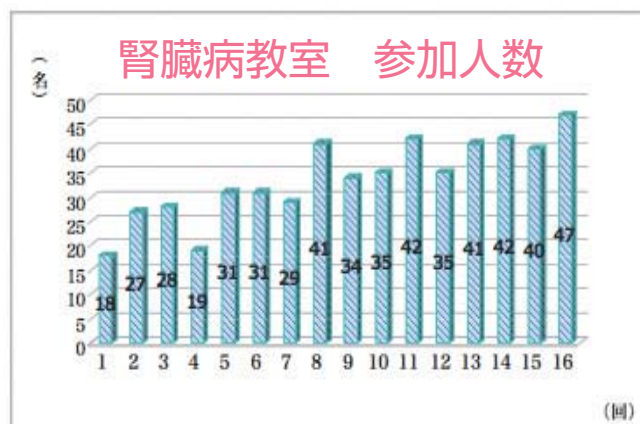
※選定療養費とは、「初期の治療は地
域の医院診療所などで、高度・専門
医療は病院(200床以上)で行う」
という、医療機関の機能分担の推進
を目的として厚生労働省により定め
られた制度です。



平成28年12月10日(土)に当院健康管理センター2階にて、「CKDと生活習慣」をテーマに第16回腎臓病教室が開催されました。今回は参加者数47名と過去最高に多くの方々にご参加いただき、スタッフ一同、参加者の皆様の真剣さに引き締める思いです。

腎臓病教室の参加者数は、ここ数年で増加傾向にあり(表1参照)、慢性腎臓病(CKD)に対する関心の高さを感じています。

【表1】



近年では成人の8人に1人がCKDと言われ、国民病とされています。CKDの進行により、年間4万人近くの方が末期腎不全から透析導入に至っています。CKDの進行を抑えるためには、病気を十分に理解して上手にお付き合いしていくことが大切です。それには食事療法とお薬が重要な役割を果たします。



スロートレーニング

腎臓病教室では「腎臓の働き 慢性腎臓病」とは「薬物療法」「検査データ」「医療福祉」「食事療法」について、各担当者からじっくりとお話をさせていただきまします。また、参加者からの活発なご意見・質問にもその場でお答えしています。

その重要な食事療法として『低蛋白・減塩 低カリウム』がポイントの腎臓病食を、昼食という形で実際に目で見て(量・舌で味わって)(減塩)感じることで学んでいただけるよう、毎回ご提供しています。



今回はバイキング形式で各おかずを2種類ずつご用意し、お好きな方を選択していただきました。普段、パンフレットや栄養相談という形でお話をする中で食事療法をお伝えしていますが、当院の管理栄養士が準備する腎臓病食から、少しでもご自宅での食事療法の参考になればと考え、毎回美味しい食事を！と準備させていただきました。

今回の第17回腎臓病教室開催は平成29年7月8日(土)を予定しています。スタッフ一同、心をこめて準備しておりますので、毎回欠かさずご参加いただいている方現在治療中の方興味のある方ぜひぜひご参加いただければと思います。みなさまのご参加をお待ちしております。

院内教室レポート「第16回 腎臓病教室が開催されました！」



上部内視鏡



下部内視鏡

3月11日(土)中部地方近郊の大学の医学生を対象とした「東濃スキルアップセミナー」を開催しました。

このセミナーは、今年度で3回目を迎え、実際に現場で使用する医療機器やシミュレーターを扱い、当院の医師や看護師医療スタッフからの直接指導による様々な手技を学んでもらうもので、今回も3年生～5年生の多数医学生が参加しました。

外科の縫合手技、内視鏡の扱い方、骨折時のギプスの巻き方、心電図や心臓超音波腹部超音波の見方、救急外来で必要な気管内挿管等、実際の医療現場で必ず必要となる手技を体験し、日頃触る機会のない医療機器を扱いながら、説明する医師やスタッフの話に耳を傾け、わからないところを食い入るように質問していました。

セミナー後に開催された懇親会では、熱心に当院医師の実体験や、自分の進む



気管内挿管



腸管吻合

べき診療科の選び方、目標のためにするべき事を聞いていました。

このセミナーを通じて、医学生が今後の自分の方向性を決定する助けになり、魅力ある病院となるよう、継続できればと考えます。



東濃スキルアップセミナーを開催しました！